

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策3_文化芸術を育む場を「支える」			
	(3)伝統文化の継承・発展			
事業名	伝統文化普及事業 「伝統文化体験」			
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉県文化振興財団		
市との関わり	その他	指定管理事業	指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961	(内)2526

事業概要	開始年度	令和3年度		
	事業費	(予算) 市： 459千円 その他： 0千円	(決算) 市： 266千円 その他： 0千円	
	内 容	文化センターの施設を使用して、伝統文化に関する参加・体験型の催物を実施する。		
	目 的	古来から伝わる伝統的な芸能に加え、千葉の街に伝わる芸能を多くの市民に体験・鑑賞してもらえる機会を提供し、伝統文化の継承普及活動を行う。		
	目 標	(数値) 入場者数150名	(昨年度)	
	ねらい	(対象) 一般市民 (求める効果) 日本古来から伝わる伝統的な文化に慣れ親しむ機会を創出することにより、伝統文化を一般市民の方々に身近に感じていただき、更にそれを継承していく方を創造するためのキッカケ作りをしたい。 (アプローチ方法) 参加者ご自身が、楽器を奏で、花を生け、リズムに合わせて舞う等のことを実体験していただくことにより、単に鑑賞するよりも深い興味を持っていただく。 ただし、令和3年度については、新型コロナウィルス感染症の拡大により、体験型では講師と参加者の距離が近すぎる、消毒することが難しい楽器等を多くの方が触れることになる、等の問題があるため、体験型の行事を取り止め、ホールで鑑賞型の公演を実施した。		
	実績	実施日：9月11日(土) 10:00～15:30 公演名：伝統芸能に親しむ ～日本の美、邦楽邦舞の魅力～ 内 容：3階：アートホール 邦楽・邦舞コンサート アートホールロビー いけばな展示 出演等：千葉県邦楽邦舞文化協会、千葉県茶道華道協会 入場料：無料／入場者数：110名		
情報発信	☐ 市政だより ■ H P ■ ポスター・チラシ ■ フェイスブック・ツイッター ☐ その他（ ）			

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本 施策 との 適合	(1) 妥 当 性	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 伝統文化の担い手を創造する上で、公演を無料で提供することで、興味はあるが敷居が高いと感じている方に対し、気軽な気持ちで参加していただき、その魅力を感じ取っていただくという機会を提供することができた意味では、妥当であると思う。
	(2) 達 成 度	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により体験型では実施できなかったため、ホールでの演目を鑑賞していただくという形に変更した。そのため実際に体験していただくということはできなかったが、参加された方に興味を持っていただくという最低限のミッションは達成したのではないと思う。
	(3) 波 及		(評価の内容) 今年度は鑑賞型として実施したため、本来の手法である体験型と同じ効果があったとは考えていないが、伝統芸能の魅力を伝えるには十分な効果があったものと思われる。
2 戦 略 的 な 視 点 ・ 基 本 姿 勢 との 適合	(1) 市 民 主 体	☐ 1 ☐ 2 ☐ 3 ☒ 4	(評価の理由) 本事業は、ホールでの邦楽邦舞公演の出演を千葉市邦楽邦舞文化協会に、ロビーでのいけばな展示を千葉市茶道華道協会に依頼しており、それぞれの会員は千葉市内で活動している。 市内各協会に依頼したことで、市内人材の活用にもつながっていることから妥当であると考えられる。
	(2) こ ど も ・ 若 者	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) 本来の形では市政だよりへの掲載を依頼するほか、千葉市教育委員会の協力を得たうえで、小中学校でチラシ配布して参加の呼び掛けを行う予定であった。 しかしながら、今回は参加者募集をする時期が感染者が急拡大していた時期であったため、状況次第によっては中止せざるを得なくなる場合を想定し、大々的な告知は自粛せざるを得なかった。
	(3) 領 域 の 広 が り	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) 市民への十分な告知、小学校等でのチラシ配布が可能な状況であれば、伝統文化に興味を持つ方の裾野を広げるに十分な効果があったものと思われる。 しかしながら、今回はポスター掲示・チラシ配架及び当財団のホームページ掲載しかできなかったため、領域の広がりには限られた範囲であった。

3 事業のねらい	(1) 妥当性	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 本事業は、第2次千葉市文化芸術振興計画にある伝統芸能の継承・発展を、具体的に実行しようとした企画であり十分妥当であると思う。
	(2) アプローチ	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 本来の手法でいえば、日本古来から培われていた伝統的な文化である邦楽・邦舞等を、興味はあるが実際に触れたことがない方に対し、その体験をしていただくというものである。 今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実際に体験をしていただくことはできなかったが、鑑賞を通じて、伝統文化に触れるきっかけとしての機会は果たしていると考えられる。
		(評価に関連する数値等)	
4 市民との関わり	(1) 満足度	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) コロナ禍で多くの公演等が中止になる中、本公演を無料で実施したこともあり、来場者アンケートではとても好評ではあった。
	(2) 周知度	☐ 1 ☒ 2 ☐ 3 ☐ 4	(評価の理由) 周知についても、新型コロナウイルス感染症が急拡大していた時期であり、事業実施が危ぶまれたため、実施の可否判断を広報の直前まで見極める必要があった。そのため、締め切り日の早い「市政だより」は掲載を見送ざるを得なかった。その結果、当然のことながら、周知度は低調であった。
		(評価に関連する数値等) アンケート結果では、「非常に満足」「満足」の合計が、84.8%を占めた。	
5 効果	(1) 活動の活性化	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 伝統文化は古来から人から人へと伝えてきた文化であり、参加者に対して効果がすぐに見えるようなものではないが、事業実施することにより出演者等のモチベーションは上がり、鑑賞(参加)した方は興味を深めることになる。これを継続することで、より活性化が期待できるものとする。
	(2) 費用対効果	☐ 1 ☐ 2 ☒ 3 ☐ 4	(評価の理由) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防の観点から各体験を取りやめたが、それによりかかる経費も節減できており、また一定の満足度を得られたので、費用対効果の面は、満たしていると思われる。
	(3) その他の効果	(評価に関連する数値等) アンケート結果では、「非常に満足」「満足」の合計が、84.8%を占めた。	
			(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載(地域活性化等なんでも可)
		(評価に関連する数値等)	